

令和7年度特色化選抜 B方式 プレゼンテーション型 について

北九州市立高等学校

1 内定者人数(目安)

未来共創科 20名程度

2 検査日

令和7年1月30日(木) 受付:午後12時20分～ 集合:午後13時00分

3 実施方法

(1) 実施形態

個人ごとに面談形式で実施する。

(2) プレゼンテーションの内容及び方法

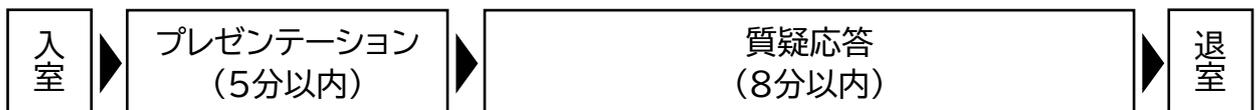
「北九州市立高等学校 令和7年度 特色化選抜 B方式 プレゼンテーション型選抜 課題」の【プレゼンテーションテーマ】に沿って、自分で選んだ言葉や方法で発表する。

(3) 携行品

受検票、上履き、下足を入れる袋、プレゼンテーションの資料(必要な場合)

(4) プレゼンテーション等の時間

15分以内(プレゼンテーション5分以内、質疑応答8分以内、入退室2分以内)を基本とする。



4 プレゼンテーションにおける基本的なガイドライン

(1) 実施可能なプレゼンテーション方法について

原則、受検者本人が一人で入室から退室までの間に準備し、実施できる方法とする。

ただし、他の受検者に影響を与える(迷惑がかかる)方法、検査室内で実施できない方法、安全面で問題がある方法等は実施できない。

(2) 使用可能な物品について

必要に応じて、次の物品を使用することができる。

ア 受検者が一人で検査室まで持ち運ぶことができるもの。

ただし、台車等は使用できない。

イ 安全面で問題がないもの、管理上問題がないもの。

なお、次の場合に限り、タブレット端末等を使用することができる。

- ・ プレゼンテーションソフト等を使用し、画面を提示しながら実施する場合
- ・ 写真等の画像、音声及び動画を提示する場合
(ただし、音声及び動画を再生するのみの発表は不可)

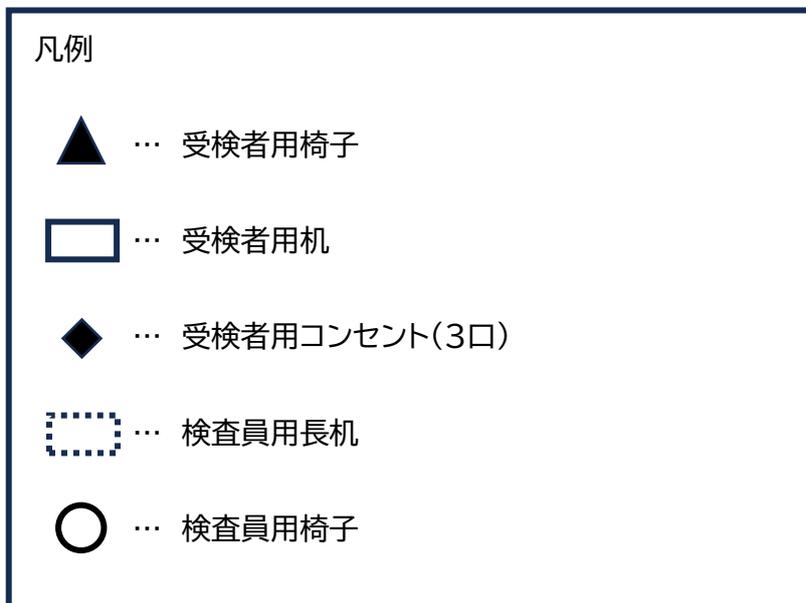
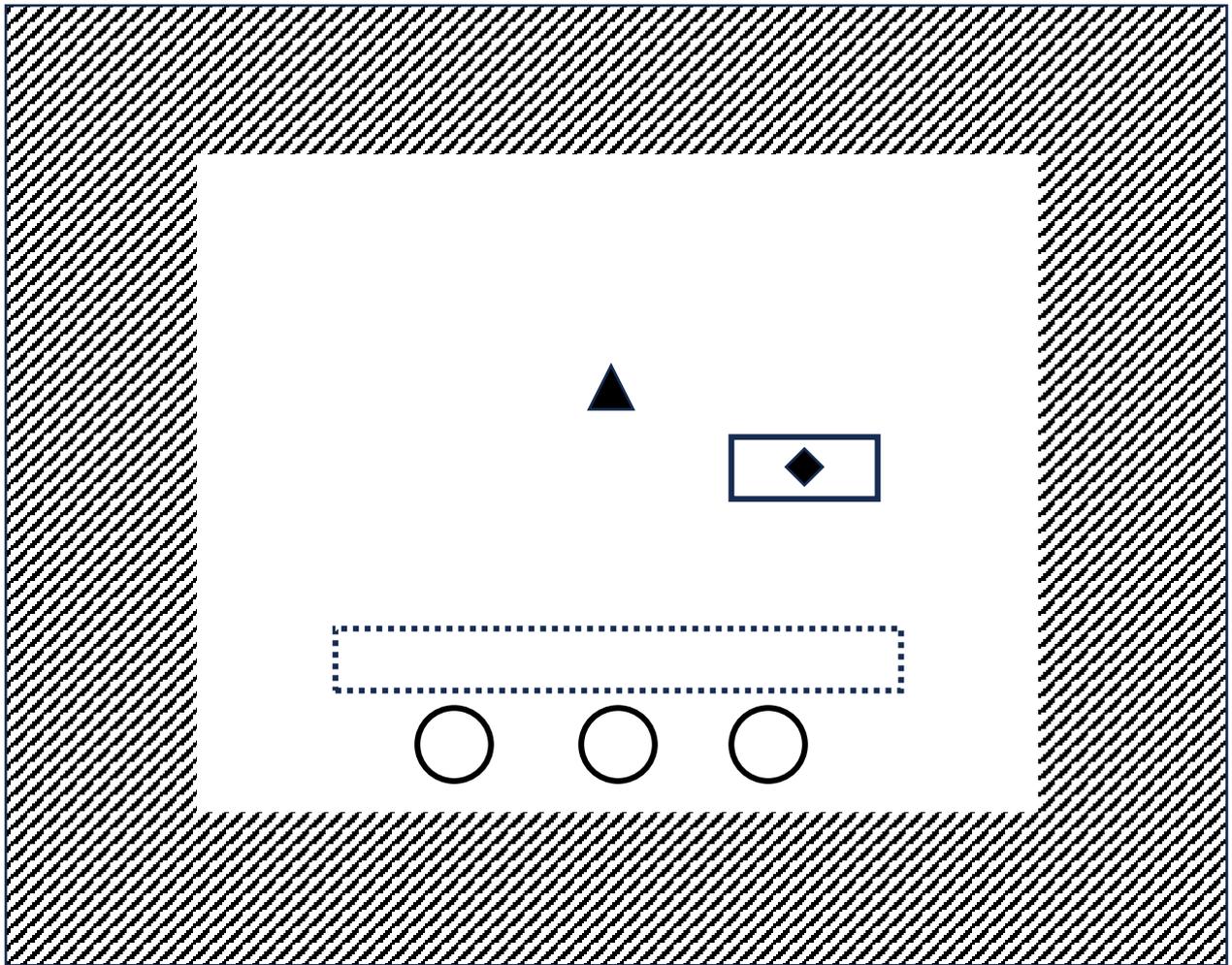
※ 校内では、通信機能を利用できないように設定(機内モードなど)しておくこと。

※ 校内では、録音・録画機能等、プレゼンテーションに必要な機能は使用しないこと。

※ 原則として、検査室の備品等は使用できない(黒板等、検査室内にあるものを含む)。

ただし、検査室内の受検者用コンセント(3口)は使用することができる。

(3) 検査室 概略図



※  部は検査室によって異なります。

※ 受検者の荷物置き用机と計時用タイマーは、室内に別途用意しています。

令和7年度特色化選抜 B方式 プレゼンテーション型 について Q&A

Q1

プレゼンテーションはどのように行われるのですか？

A1

- ・原則として、個人ごとに面談形式で実施します。
- ・【プレゼンテーションのテーマ】に沿って、自分で選んだ言葉や方法で発表します。
- ・プレゼンテーション後は、検査員から、プレゼンテーションした内容に対する質問がありますので、回答してください。
- ・1人あたりのプレゼンテーションにかかる総時間は15分以内です。
(プレゼンテーションする時間は5分以内、プレゼンテーション後の検査員からの質問に回答する時間は8分以内、入退室にかかる時間は2分以内です。)

Q2

検査員からの質問は必ず行われるのですか？

A2

- ・必ず行われます。
検査員からの質問は、みなさんが行ったプレゼンテーションの内容に対して行われますので、自分自身のことや自分の意見などを回答してください。
- ・検査員からの質問に対するみなさんの回答も含めて、プレゼンテーションの評価を行います。

Q3

プレゼンテーションが5分を超えてしまったらどうなりますか？

A3

- ・入学者選抜を公平・公正に実施するため、プレゼンテーションの時間は5分以内とするルールを定めています。仮に、プレゼンテーションが5分を超えてしまった場合は、検査員から指示がありますので、速やかに終了してください。
プレゼンテーションを行うみなさんに時間がわかるよう、タイマーを設置しています。

Q4

実施可能な発表方法を教えてください。
また、禁止されている発表方法があれば教えてください。

A4

・実施可能な発表方法は、
原則として、みなさん本人が、一人で時間内に準備し、実施できる方法です。
いろいろな方法が可能ですので、工夫しながら自分自身のことを発表してください。

・禁止されている発表方法は、
◆他の受験生に影響を与える(迷惑がかかる)方法(例 Q5へ)
◆検査室内で実施できない方法(例 Q6へ)
◆安全面で問題がある方法(例 Q7へ)

などです。

このような発表方法をとりたいと考えている場合、事前に動画や写真等を撮影し、タブレット端末等で発表内容として提示することは可能です。

Q5

実施できない発表方法である「他の受験者に影響を与える方法」とは、例えば何ですか？

A5

・「他の受験者に影響を与える(迷惑がかかる)方法」としては、例えば、
◆他の検査室の検査の妨げになるほど大きな声で歌ったり、大きな音が出る楽器を演奏したりする方法
◆匂いが発生する実験などの方法

などがあると考えています。

このような発表方法をとりたいと考えている場合、事前に動画や写真等を撮影し、タブレット端末等で発表内容として提示することは可能です。

Q6

実施できない発表方法である「検査室内で実施できない方法」とは、例えば何ですか？

A6

- ・「検査室内で実施できない方法」としては、例えば、
 - ◆高い天井や広い場所を必要とすることや、危険を伴うこと、入退場の時間(あわせて2分間)で準備や片付けが終わらないことは実施できません。
- このような発表方法をとりたいと考えている場合、事前に動画や写真等を撮影し、タブレット端末等で発表内容として提示することは可能です。

Q7

実施できない発表方法である「安全面で問題がある方法」とは、例えば何ですか？

A7

- ・「安全面で問題がある方法」としては、例えば、
 - ◆宙返りなどの危険を伴う方法
 - ◆野球のバットやテニスのラケットを用いた激しい素振り等をする方法

など、本人及び他人が怪我をしたり、器物を破損したりする可能性がある方法は実施できません。

このような発表方法をとりたいと考えている場合、事前に動画や写真等を撮影し、タブレット端末等で発表内容として提示することは可能です。

Q8

日本語以外の言葉でプレゼンテーションをしても良いですか？

A8

- ・良いです。
例えば、英語など自分が得意としている日本語以外の言語を用いてプレゼンテーションすることも可能です。そのような場合には、例えば、プレゼンテーションの5分以内の一部を使ってパフォーマンスすることなども可能です。
- ・日本語以外の言語を用いてプレゼンテーションを行う場合には、検査員用に発表内容の日本語の資料(3部)を用意してください。資料は、検査終了時に返却します。

Q9

検査員に質問したり、作業をお願いしたりしても良いですか？

A9

- ・検査員に質問したり、作業をお願いしたりすることはできません。
みなさんが、一人で時間内に準備し、実施できるものでプレゼンテーションを行ってください。

Q10

発表する内容を書いた原稿を持ち込むことはできますか？
また、持ち込んだ原稿を読んでも良いですか？

A10

- ・表現する内容やシナリオ、考え方などを整理するために作成した原稿等を持ち込むことは可能です。ただし、持ち込んだ原稿を、そのまま読むだけということは、プレゼンテーション型の特色化選抜の趣旨から適切でないと考えています。
- ・自分で考えた内容で自分らしく、自由に発表することを心掛けてください。

Q11

持ち込んではいけないものや使用してはいけないものはありますか？

A11

- ・受検者が一人で検査室まで持ち運ぶことができないものは、持ち込みができません。
持ち運ぶ時に、台車等は使用できませんので注意してください。
- ・入退室にかかる時間は、あわせて2分に設定されています。その時間内で準備及び片付けができるものでなければ使用することはできません。
- ・また、安全面で問題があるものや管理上問題があるものは持ち込んだり、使用したりすることができません。
- ・安全面で問題があるものとして、例えば、
 - ◆人体に害のある化学薬品や爆発物管理上問題があるものとして、例えば、
 - ◆ペットや貴重品などがあると考えています。
- ・また、原則として、検査室の備品等(黒板、検査室内にあるものを含む。)は使用できませんので注意してください。

Q12

必ず物品を使用しないといけないのですか？

A12

・必ず物品を使用しないといけないということはありません。必要な場合には各自で用意してください。

Q13

タブレット端末等のICT機器を使用することはできますか？

A13

・可能です。

プレゼンテーションソフト等を使用して画面を提示しながら実施する場合や、写真等の画像、音声や動画を提示する場合に使用することができます。ただし、音声及び動画の再生のみの発表は「プレゼンテーション型」の特色化選抜の趣旨から適切でないと考えています。

Q14

プロジェクターやスクリーンは、検査室に用意されていますか？

A14

・プロジェクターやスクリーンなどは用意していません。

原則として、検査室の備品等(黒板等、検査室内にあるものを含む。)は使用できませんので、注意してください。

Q15

持ち込んで使用する資料などは、自分で作ったものでなければダメですか？

A15

・プレゼンテーションは、【プレゼンテーションのテーマ】に沿って、自分で選んだ言葉や方法で、自分らしく発表・表現できるかどうか重要です。

よって、持ち込んで使用する資料は、受検者本人が作成したものでなければなりません。

Q16

発表時に検査員に資料を配布することは可能ですか？

A16

- ・発表を補足するための資料であれば、検査員へ渡すことは可能です。
発表資料と同じく、受検者本人が作成したものに限りです。
資料を配布する場合は、3部用意してください。資料は、検査終了時に返却します。

Q17

検査日当日の待ち時間にプレゼンテーションの練習をすることはできますか？

A17

- ・受検者控室で練習をすることは可能です。しかし、他の受検者もいるため、大きな声を出したり、大きな音を出したり、自席から離れて身体を動かしたりすることはできません。他の受検者に迷惑がかからないよう、自席にてプレゼンテーションの備えをすることは可能です。
- ・ICT 機器を使用する場合は、検査開始前に受検者控室にて、短時間の充電の機会を順番に設定したいと考えていますが、十分な充電時間は確保できないことが予想されるため、練習を行う際には、バッテリーの残量には注意してください。

Q18

持ち込んだタブレット端末の充電が切れそうになったら、検査室のコンセント等で充電させてもらえますか？

A18

- ・検査室内ではコンセント(3口)を使用できます。
しかしながら、準備等の時間も考慮し、コンセントの使用に頼らない方法で準備をすることをお勧めします。
原則として、検査室の備品等(黒板等、検査室内にあるものを含む。)は使用できませんので、注意してください。

Q19

校内で、インターネットに接続することはできますか？

A19

- ・校内で、通信機器を使用(インターネットへの接続等)することはできません。
オフライン状態で使用できるタブレット端末などのICT機器を用意してください。

Q20

プレゼンテーションの際に、ICT 機器が上手く作動しなかった場合はどうなりますか？

A20

- ・ICT 機器が作動しなかったり、動画が上手く再生できなかったりした場合に、検査員等がトラブルの解決の手伝いをすることはできません。どうしてもうまくいかない場合には、別の方法で発表を行ってください。万が一、上手く作動しない場合はどうするかを含めて、準備をしておいてください。
- ・ICT 機器のトラブルが発生した時間も含めて、プレゼンテーションは5分以内となりますので、注意してください。